

R4開始

13 二本松市（福島県）

～主な品目～
水稻、野菜（たまねぎ等）

実施体制

一般社団法人二本松有機農業研究会、オーガニックふくしま安達、あだたら食農Schoolfarm、二本松ご当地エネルギーをみんなで考える株式会社、特定非営利活動法人ゆうきの里東和ふるさとづくり協議会、ふくしま東和有機農業研究会、国立大学法人福島大学、あぶくまの里農ganic女子、農事組合法人あだたら産直センター、株式会社デイリーサービス、株式会社いちい、福島県県北農林事務所安達農業普及所、二本松市



面積情報

有機農業取組面積：－ha 耕地面積に占める割合：－％

1 成果目標

有機農業の取組面積の拡大 R4年度 25.6ha → R9年度 30.7ha

有機農業に取り組む農業者数の増加 R4年度 30人 → R9年度 50人

2 有機農業を拡大していく上での課題

市内の有機農産物の流通について、生産者団体において供給が追いつかない等の理由により不十分な状況にある。そのため、有機農産物を安定的に供給できるよう新たに有機農業者を育成・確保するなど供給体制の整備を図っていくことが課題となっている。

3 課題に対する取組のポイント・成果

消費者、慣行農業者及び有機農業を志向する農業者との交流を通じて、有機農業をはじめとした循環型農業への理解を促進するため、令和4年度及び令和5年度においてマルシェを開催した。

拡大をはばむ雑草の紹介

・ギシギシ
（5月～8月）

【対策】

▶畑のギシギシ



繁殖力が旺盛であるため種子が増えないよう、こまめな耕起と手で抜き取り除草を行う。

ポイントとなる導入技術

これまでは、手作業による除草を行っていたが、乗用水田除草機の導入により、水田の除草に費やす労力と時間が削減された。▶除草の様子



4 主な取組内容

①生産

- ・有機農業志向の新規就農者や、慣行農業から有機農業への転換もしくは減農薬・減化学肥料等を検討している農業者に対して、安達農業普及所等関係機関と連携して就農相談や情報提供を行い、循環型農業に転換しやすい環境を整える。
- ・新規就農者に対して、市及び国県の支援制度を活用して研修受け入れの取組を進める等誘導を図り、有機転換志向及び減農薬・減化学肥料志向の農業者に対しては、環境保全型農業直接支払交付金等の制度を活用して誘導を図る。

②加工・流通

- ・有機農業に理解を示す民間事業者と連携し、学校給食へ有機食材の提供について速やかな実施に向け関係機関との協議を行い、徐々に拡大を図るとともに、併せて循環型農業の啓発を進める。
- ・市内店舗での有機農産物の取り扱いを増やすため普及啓発活動を行い、有機農産物コーナーの設置を働きかける。
- ・生産者の利益が確保されかつ高品質な農産物が消費者に届く効率的な流通・販売の取組の拡大推進を関係機関との連携により取り組む。
- ・有機農産物の規格外品の加工・販売等の有効活用について検討を進める。

③消費

- ・事業者、消費者との交流、有機農業者・慣行農業者間の交流を通じて、有機農業をはじめとした循環型農業への理解を促進するため、啓発資料を作成するとともに、マルシェ、ワークショップ等の開催を行う。